

# ESD北海道ユース・ダイアログ

[日時] 2019年4月20日(土) 15:00~17:30 (開場 14:30)

[会場] 北海道クリスチャンセンター 207号室 (札幌市北区北7条西6丁目)

[対象] 10~20代の若者30名 (参加費無料)

[主催] 北海道学校ESD実践研究会、環境省北海道環境パートナーシップオフィス/北海道地方ESD活動支援センター

[協力] RCE北海道道央圏協議会 (予定) ※ ESDは「持続可能な開発のための教育」の略称、未来に向けた学びです

2019年3月15日、地球温暖化対策に消極的な社会に対して、世界の若者たちが一斉に声を上げました。賛同の輪は約120か国、2000か所に広がり、国内では京都や東京の若者が立ち上がりました。現状を変えるために「いま、行動を起こさなければ！」と考える若者たちが、世界各地で活動を展開しています。

国内における、そうした若者のコミュニティのひとつに「ESD日本ユース」があります。文部科学省等が主催する「ESD日本ユース・コンファレンス」の参加者を中心とするコミュニティです。コンファレンスは『現代を生きる私たちが抱える様々な課題を解決し、みんなが幸せに暮らせる持続可能な社会を育むためには、どうすればよいのか？ そのために「教育」は何ができるのか？ その中で、どのような貢献ができるのか？』という問いを共有する全国の次世代リーダーが集い、学び合い、次の一歩を生み出す場となっています。

今回は過去3回、コンファレンスに参加し、プログラムデザイン等、運営にも積極的に関わっている青山真弓さん来札の機会を捉え、会場の皆さんと対話を深め、北海道で私たちユースが次に取り組んでいくことを考える「ESD北海道ユース・ダイアログ」を開催します。



## 参考

第5回 ESD 日本ユース・コンファレンス (2018年10月13、14日)  
<https://www.goipeace.or.jp/news/20181221/> ※五井平和財団サイト

[ゲスト] ESD日本ユースメンバー 青山真弓 (あおやま・まゆみ) さん

筑波大学在学時より、こどもクラブの運営に取り組み、大学院に籍を置きつつ NPO法人ETICの起業家と学生インターンをつなぐ事業等に携わる。卒業後、環境とCSR、教育を専門とする杉浦環境プロジェクト株式会社(千葉県柏市)に就職。拓殖大学が認定する「国際開発教育ファシリテーター」のスキル等を生かし、「サステナビリティ学」や英対話教材づくり等を担当。

その後、地球の環境保全に関わる情報提供等を行う一般社団法人職員や、文教大学での「インタープリテーション論」講師等を経て、2016年から2019年3月まで(公財)京都市環境保全活動推進協会に勤務。京都市環境保全活動センター(京エコロジーセンター)におけるボランティアグループ活動支援等に携わった。



## お申し込み・お問い合わせ

専用申し込みフォーム (<https://epohok.jp/event/10181>) をご利用いただくか、電話またはFAX、Eメールにて、お名前・ご所属・連絡先(メールアドレス等)をお知らせください。なお、取得した個人情報は本事業に関するご連絡及び受付のみに用い、それ以外の目的での利用は行いません。

● 環境省北海道環境パートナーシップオフィス/北海道地方ESD活動支援センター  
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11大五ビル7階(担当:溝淵)  
TEL: 011-596-0921 FAX: 011-596-0931 E-mail: epoh-webadmin@epohok.jp

